

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

展

覧

会

の絵

休日の午後を彩る名曲選

「炎のマエストロ」
渾身のタクトで圧倒的なクライマックスへ！



国際的なコンクールで次々に優勝！
斜め上の想像力を持つ“恐るべき21歳”

ヴァイオリン=福田廉之介
Violin= RENNOSUKE FUKUDA



ベルリオーズ：
序曲「ローマの謝肉祭」 作品9
BERLIOZ: Le carnaval romain, op. 9

サン＝サーンス：
ヴァイオリン協奏曲第3番 口短調 作品61
SAINT-SAËNS: Violin Concerto No. 3 in B minor, op. 61

ムソルグスキー（ラヴェル編）：
組曲「展覧会の絵」
MUSSORGSKY (arr. RAVEL): Pictures at an Exhibition

熱い魂の込められた音楽で聴衆を魅了！
80歳を超えて円熟味を増す“炎のマエストロ”

指揮=小林研一郎 (特別客演指揮者)
Conductor= KEN-ICHIRO KOBAYASHI

読売日本交響楽団 第236回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 236

2021年4月24日(土) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール(池袋)
Saturday, 24th April 2021, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

読売日本交響楽団 第236回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 236

2021年4月25日(日) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール(池袋)
Sunday, 25th April 2021, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

主催=読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催=公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター0570-00-4390 (10時~18時 年中無休)
<https://yomikyo.or.jp/>

展覧会の絵

小林研一郎が傑作「展覧会の絵」で渾身のタクト！
21歳の新星レンノスケが名旋律を奏でる。

80歳を超えてますます円熟味を増す“炎のマエストロ”小林研一郎が登場。精力的に指揮活動をし、絶大な人気を誇る名匠です。小林が圧倒的なエネルギーをタクトに込めると、一音一音に生命が吹き込まれ、生命力みなぎる音楽が私たちに魅了します。

今回は、トランペットの華やかなファンファーレで始まる「展覧会の絵」をメインに取り上げます。もともとはロシアの作曲家ムソルグスキーが作曲したピアノ作品を“色彩の魔術師”ラヴェルが管弦楽版に編曲したもので、オーケストラの多彩な響きが魅力的な作品です。展覧会の会場を巡るかのよう、「殻を付けた雛鳥のバレエ」、「リモージュ(市場)」といった様々な場面が次々と現れ、最終曲「キエフの大門」では誰もが知る有名なファンファーレが劇的に響きわたるでしょう。小林の渾身のタクトが読響から輝かしい音色を引き出し、会場を熱狂へと誘います。

前半のサン＝サーンスのヴァイオリン協奏曲第3番は、美しいメロディが散りばめられた、一度聴いたら忘れられない名曲です。ソリストは、スイスで研鑽を積む新星・福田廉之介。21歳の“レンノスケ”の名を世界に広めたのは、もう5年以上前のこと。2013年に数々の国際的な名手を輩出しているドイツのクロスター・シェンター国際コンクール、翌14年に難関として知られるメニューイン国際コンクールの各ジュニア部門で相次ぎ優勝。その後、福田は東京の高校からの奨学生の招待を辞退し、「日本人がいない環境でヴァイオリンだけに集中したい」と15歳からスイスに渡り、ハイフェッツ国際コンクールやハノーファー国際コンクールでも入賞、昨年1月には日本コロムビアから初のソロCDをリリース。今、最も注目を浴びている若手ヴァイオリニストの一人と言えるでしょう。妥協を許さない完璧な技術と細身の身体から発するエネルギーギッシュな演奏で、ヴィルトゥオーゾぶりを発揮します。

1曲目はベルリオーズ「ローマの謝肉祭」で華やかに幕を開けます。新シーズンの開幕にふさわしい、輝かしいサウンドの名曲の数々をお楽しみください。



指揮 小林研一郎 (特別客演指揮者)

Conductor= KEN-ICHIRO KOBAYASHI

“コバケン”の愛称で親しまれる世界的マエストロ。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており02年の「ブラハの春」音楽祭では、東洋人として初めて開幕コンサートに招かれ「わが祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督、チェコ・フィル常任客演指揮者などを経て、日本フィル桂冠名誉指揮者、九響名誉客演指揮者、名古屋フィル桂冠指揮者、群響ミュージック・アドバイザー、東京芸術大学、リスト音楽院の名誉教授などを務めている。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与され、20年にはハンガリー国大十字功労勲章(最高位)を受章。オクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースしている。

ヴァイオリン 福田廉之介

Violin= RENNOSUKE FUKUDA



柔軟な発想力とひらめきを持つ新鋭ヴァイオリニスト。1999年岡山県生まれ。2013年クロスター・シェンター国際コンクール・ジュニア部門優勝。併せてヴィルトゥオーゾ賞なども受賞。14年メニューイン国際コンクール・ジュニア部門優勝。シオンの音楽学校をわずか1年で首席卒業し、16年からローザンヌ高等音楽院で学んでいる。17年ハイフェッツ国際コンクール第3位、ヴァルセリア・ムジカ国際コンクール優勝。18年ハノーファー国際コンクール第4位。これまでD.エロフスキ、G.ゲレロ、山田和樹らの指揮で、クリヴランド管、ロンドン・フィル、モスクワ・フィル、ハノーファー北ドイツ放送フィル、大阪フィルなどと共演。17年、I.ギトリス賞を受賞。昨年1月、日本コロムビアから初のソロCDをリリース。河野園子、工藤千博、小栗まぢ絵、漆原啓子、P.ヴェルニコフ、S.マカロヴァの各氏に師事。

読売日本交響楽団 第236回土曜マチネーシリーズ

2021年 **4月24**日(土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観覧券】東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。(株)ミラクス ミラクスシッター0120-415-306(予約受付:平日9時-17時)

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。*マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296